

# 「再造林の低コスト化」の進捗状況

森林整備課

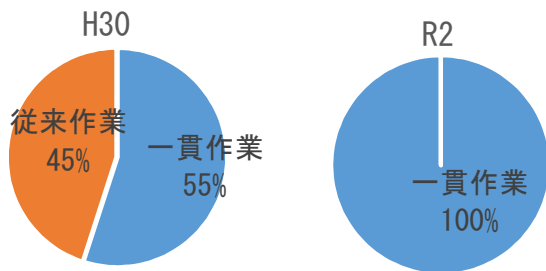
## ○令和2年度末の進捗状況

- (1) 県全体の再造林コストは平成30年度に比べ9%低減(見込み)
- (2) 植林から伐採までの1サイクルの生産コストは平成30年度に比べ8%低減(見込み)

## ○主な取り組み

- (1) 一貫作業の実施割合・・・100%
  - 一貫作業による再造林等の低コスト化等を推進するための「伐採者と造林者の連携による伐採と再造林等のガイドライン」に基づく協定締結2件(累計45件)

■一貫作業の実施割合



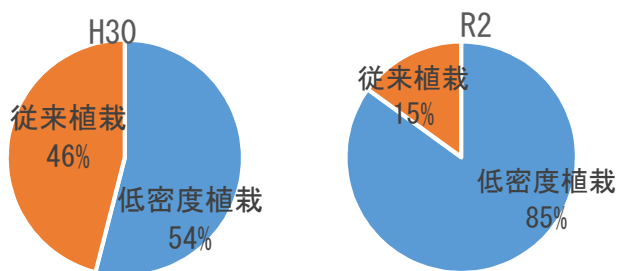
■伐採者と造林者による現場打合せ



- (2) 低密度植栽の実施割合・・・85%

- 再造林の低コスト化に向け低密度植栽を促すための「新たな再造林の手引き(森林再生モデル編)」を作成し、森林所有者、森林組合等の関係者に配布

■低密度植栽の実施割合



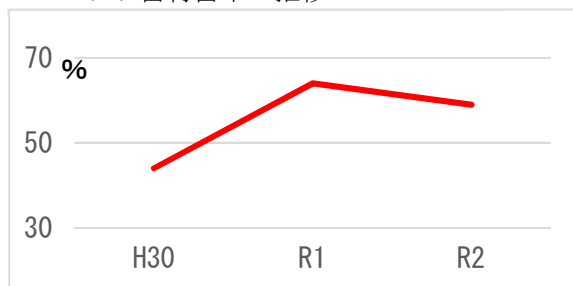
■低コスト再造林研修会



- (3) コンテナ苗・・・得苗率59%

- コンテナ苗の生産本数 約30万本(見込み)
- 生産規模拡大等に意欲的な生産者8者に対して、コンテナ苗育苗棚等生産施設2台、散水施設3台等の導入を支援
- 苗木生産者34者が参画する「しまねコンテナ苗生産振興会」を設立  
育苗技術講習会の開催(2回)

■コンテナ苗得苗率の推移



■コンテナ苗生産振興会育苗技術講習会

